

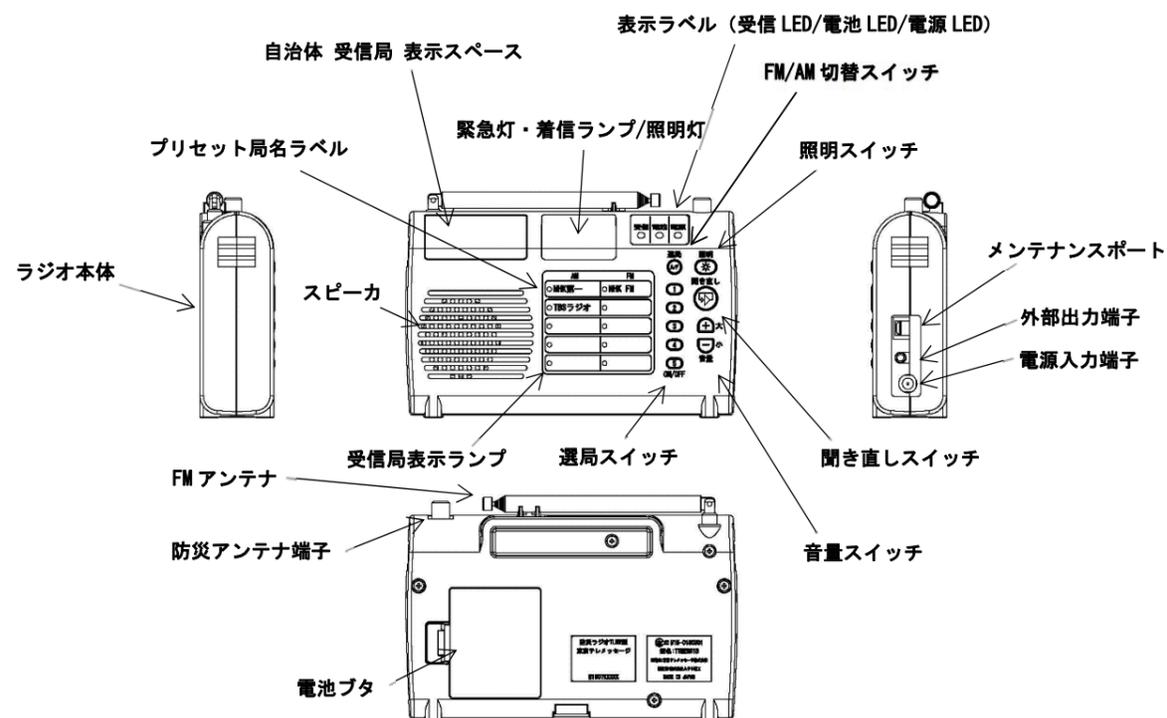
# 防災ラジオ TTMR01B (TLM2型RTC) 取扱説明

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後も、保管してください。  
このラジオの使用に当たり下記の内容をご確認、ご了解の上でご使用願います。  
下記の事前確認事項に記載された事故に関しては、一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

## <事前確認事項>

- ◆ 何らかの理由で「防災放送」を聴くことが出来なかったことにより、貴方や貴方のご家族などの財産、生命などが傷ついたり失われた時。
- ◆ 「防災放送」を聴くことにより、驚いたり慌てたりして貴方や貴方のご家族などの財産、生命などが傷ついたり失われた時。乾電池を挿入するか、ACアダプターが装着された時点でこの内容をご確認、ご了解された事といたします。

## 1 各部の説明



## 2 付属品



## 重要事項

- ◆ 付属の「防災アンテナ」をラジオ本体の「防災アンテナ端子」(外部入力)に必ず取り付けてください。
- ◆ FMアンテナを起こして使用するとき、防災アンテナに接触させないでください。防災放送の受信感度が大きく低下し防災放送の受信ができなくなります。
- ◆ ACアダプターはAC100Vのコンセントに接続し、ラジオに常時接続してご使用ください。電池のみでの使用時は、電源オフの状態でも電池を消耗します。

## 3 ラジオの受信準備

1. 付属の「防災アンテナ」をラジオ本体の「防災アンテナ端子」に手でナットのゆるみの無いよう確実に取り付けてください。防災アンテナをラジオ本体に取り付けない場合、防災放送ラジオを受信できません。
2. 本体背面の電池プタを開け、付属の「乾電池」を+-の向きに注意して挿入してください。表示ラベル内の「電源 LED」(緑色)が点滅します。点滅しない場合は、乾電池の向きを確認してください。
3. 付属の「ACアダプター」をAC100Vのコンセントに接続し、ラジオ本体の「電源入力端子」に接続してください。表示ラベル内の「電源 LED (緑色)」が点滅から点灯になります。ラジオを持ち出すとき以外、ACアダプターは常に接続した状態でお使いください。

## 4 通常放送の受信

1. ラジオの電源を入れる時は、聞きたい受信局の「選局スイッチ」を押してください。「受信局表示ランプ」(青色)が点灯します。FM/AM放送を切り替えるときは「FM/AM切り替えスイッチ」を押してください。「音量スイッチ」「+」「-」を押すことで音量が調整できます。
  2. ラジオの電源を切るときは、「受信局表示ランプ」が点灯している「選局スイッチ」を押してください。
  3. 受信局の選局をするときは、「受信局表示ランプ」が点灯していない「選局スイッチ」を押してください。
  4. FM放送を聴く場合は、ラジオ本体の「FMアンテナ」の向きを調整するか、ラジオを受信しやすい場所に設置してください。FMアンテナを起こして使用するとき、防災アンテナに絶対に接触させないでください。防災放送の受信感度が大きく低下し防災放送の受信ができなくなります。
  5. AM放送を聴く場合は、ラジオ内蔵のバーアンテナで受信するのでラジオの向きを調整するか、テレビの電磁ノイズを発生する機器からラジオを離してください。
  6. 一番下の選局スイッチはお好みの受信放送局を自分で設定できる「ユーザー指定スイッチ」です。FM/AM局それぞれ1局を自由に設定できます。「ユーザー指定スイッチ」の「選局 LED」点灯中に3秒以上押し続けLEDが点滅したらスイッチから指を離してください。(LEDが早く点滅し)自動的に受信可能な放送局で停止しLEDが点灯状態になります。その時の放送局を自動的に記憶します。別の放送局を設定したい場合は、もう一度同じ操作をしてください。設定した放送局はラジオの電源を切っても記憶されます。ACアダプターと乾電池を両方外すと、ユーザー指定した記憶が消去され一番低い周波数に戻ります。
- ※ユーザー指定スイッチによる選局動作実行中(LED高速点滅中)は、防災放送の待受け受信が中断されます。選局が完了するまで防災放送の受信はできません。
- ※電波状況により受信可能な放送局が見つからない場合があります。その場合は自動停止しても何も聞こえません。
- ※この防災ラジオは、受信しやすい280MHz帯を使って自治体様の発信する情報などを受信する目的で開発された戸別受信機です。一般のラジオ放送については市販のラジオと同様に、受信できるかはお住まいの地域の受信状況によります。(プリセットされている放送局でも電波状況により入らない事があります)

## 5 防災放送の受信 停止

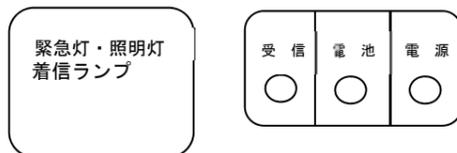
1. 防災放送を受信すると、ラジオの電源のオン/オフや選局状態に関わらずラジオが自動的に起動し、受信チャンネルが防災放送に切り替わります。
2. 防災放送中、スピーカー音量とLED(ランプ)表示は次のようになります。

	(緊急の防災放送時)	(通常の防災放送時)
スピーカー音量	ラジオの最大音量	AM/FMラジオと同じ音量
LED(ランプ)表示	受信LEDが点灯後、ラジオ上部の緊急灯(赤色)が点滅	受信LEDが点灯後、点滅

3. 自動起動状態は次の2つの方法で停止されます。
  - (1) 自動停止: 受信した音声情報を再生後自動的に停止します。LEDが消灯し、自動的に起動前の状態に戻ります。
  - (2) 手動停止: 自動起動中、どの選局スイッチを押しても停止できます。LEDが消灯し、消音停止状態になります。もう一度選局スイッチを押すとラジオ放送を聴くことができます。
4. 聞き直しが必要な防災放送を受信した場合は、着信ランプが4秒間隔で点滅し情報を保存します。聞き直しスイッチを押すことで点滅は解除されます。
5. 「聞き直しスイッチ」を押すと直前に受信した防災放送を再度聞き直すことができます。聞き直し再生中も選局スイッチを押すことで中断できます。

## 6 表示部の説明

- ラジオ中央上部の“緊急灯”（赤色）及び着信ランプ  
緊急の防災放送を受信すると点滅します。※通常放送時は点滅しません  
聞き直し中は、緊急、通常の放送内容にかかわらず、点滅します。



- 表示ラベル内の“受信”LED（青色）  
防災放送を受信すると“受信”LEDが点灯または点滅します。音声を再生後に自動的に消灯します。
- 表示ラベル内の“電池”LED（赤色）  
電池が消耗し、交換時期になると“電池”LEDが点滅します。この時は3本とも新しい電池に取り換えてください。  
ACアダプターが接続されていない場合は、その後すべての表示ランプが一斉に点滅する動作（注意喚起）となり、ラジオの全機能が停止します。  
※ラジオの電源オフ（防災放送待受け）の状態ではACアダプターを外すと、電池は3日程度で消耗します。
- 表示ラベル内の“電源”LED（緑色）  
AC100Vに接続したACアダプターをラジオに接続した場合は、表示ラベル内の“電源”LEDが点灯します。  
停電またはACアダプターをラジオから外した場合は、“電源”LEDが消灯し、電池動作時には“電源LED（緑色）”が点滅します。  
※通常は“電源”LEDが常時点灯するようにACアダプターを接続してご使用下さい。
- ラジオ中央上部の“照明灯”（白色）  
ACアダプターを使用している場合は、停電になると自動的に“照明灯”が点灯します。  
また、“照明”スイッチを押すと点灯し、再び押すと消灯します。

## 7 安全にお使いいただくために

### ⚠【警告】

- 付属の防災アンテナはラジオ本体の防災アンテナ端子に手でナットのゆるみの無いように確実に取り付けてください。  
防災アンテナを取り付けない場合、防災放送を受信できないため避難が遅れ、避難行動をとれない恐れがあります。
- 防災放送が十分に受信できる場所でご使用ください。電波の受信が不安定ですと、緊急時の放送を受信できず避難が遅れ、避難行動をとれない恐れがあります。
- ACアダプターは必ず付属品をご使用ください。付属品以外のACアダプターを使用した場合、ラジオが作動せず発熱や発火の恐れがあります。
- 電池交換は必ず3本とも同時に新品の単3形のアルカリ乾電池に交換してください。また、電池挿入の極性を間違ったり、新旧の電池を混ぜたご使用はしないでください。ラジオの故障や発熱、電池の液漏れの原因になります。
- ラジオ本体は分解や改造を絶対にしないでください。故障、発火、感電等の原因になります。
- ラジオ本体は防水構造ではありません。雨のかかる場所、浴室等で使用しないでください。また、濡れた手でACアダプターの抜き差しをしないでください。故障、発火、感電等の原因になります。
- ラジオ本体はストーブの前や直射日光の当たる場所など、高温になる場所で使用しないでください。故障、発火等の原因になります。
- ラジオの使用中に異臭、発煙、明らかに異常な状態が発生した場合は直ちに使用を止め、ACアダプターをコンセントから外し、電池ボックスを外して内部の乾電池をラジオから外してください。

### ⚠【注意】

- ACアダプターは常にラジオ本体に接続してご使用ください。ACアダプターを外すと自動的に内部の乾電池での動作になります。そのまま放置すると乾電池が消耗状態になります。
- 電池端子部やラジオ内部に、金属の部材などを挿入しないでください。故障や発火、感電等の原因になります。
- ラジオ本体は落下しやすい場所や、倒れやすい場所で使用しないでください。  
本体の落下により、故障やケガをすることがあります。
- 外部出力端子は外部拡声器用の出力端子です。イヤホンもご利用できますがその場合、緊急起動時の大音量により聴覚機能に悪影響を及ぼす恐れがあるのでご注意ください。また、本出力端子を使用中はスピーカーから音声は聞こえません。  
防災放送を聞き逃すことになります。
- メンテナンスポートは使用できません。  
故障の原因となりますので、ケーブル等接続しないでください。

## 8 その他の使用上の注意事項

- 電池の交換：電池LED（赤）が点滅している場合は、内部の乾電池が消耗または劣化して電池電圧が低下しています。  
電池が劣化している場合は液漏れの可能性がありますので、お早目に3本同時に新品の乾電池に交換してください。  
※乾電池は1年に1回3本同時に交換してください。
- お引越しの際はこのラジオを販売または配布した自治体等にご連絡願います。

## 9 仕様

防災信号受信周波数	280MHz 帯	外部出力端子	φ3.5 ステレオミニジャック
FM受信周波数	76.0 ~ 94.9 MHz	外部出力音声	ラインレベル・モノラル音声（L側）
AM受信周波数	522 ~ 1611 KHz	制御出力	オープンコレクタ（R側）最大50V 25mA
防災放送受信表示	緊急灯・受信LED点滅	照明機能	白色高輝度LED×2
通常受信局	FM/AM局の中から各4局工場設定	電池	単3系アルカリ乾電池×3本
	FM/AM局の中から1局任意設定	ラジオ電源入力	DC6V / 0.5A
防災信号受信アンテナ	ヘリカルアンテナ（付属品）	ACアダプター	AC100V DC6V / 0.5A
FM受信アンテナ	ロッドアンテナ 77cm	使用温度範囲	0℃ ~ 40℃
AM受信アンテナ	本体内蔵パーアンテナ	サイズ（突起除く）	180mm（W）×110mm（H）×41.5mm （D）
オーディオ出力	最大出力600mW 8Ωモノラル	質量	約515g（ACアダプター別）
スピーカー	直径50mm 8Ω 定格入力5W	設置形態	据置き/携帯可能

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 10 故障かなと思ったら

- 問1. スピーカーから音が出ない。
- ACアダプターが接続されていますか。電源コンセントにAC100Vが通電されていますか。
  - ACアダプターを接続せずにご使用のときは、電池が消耗していませんか。
  - ラジオの音量スイッチの“+”（大）を押しましたか。受信局表示ランプ（青色）が点灯していますか。
- 問2. 放送局を選局してもザーと雑音だけが聞こえる。
- このラジオにはあらかじめ設定された放送局のみ受信できます。ご使用の地域用のラジオでしょうか。  
ラジオ本体のラベル表示（放送局名、地域名など）を確認し、ラジオの販売元や配布元にお問い合わせください。
  - 放送局の電波は十分に届いていますか。  
FM放送の場合、本体のFMアンテナは伸ばしてありますか。FMアンテナの向きやラジオの設置場所を変えてみてください。  
AM放送の場合、ラジオ本体内蔵のパーアンテナで受信します。ラジオの向きで感度が変わりますので感度が良い方向に向けてください。またAM放送はパソコン、テレビなどの電子機器のノイズで妨害されますので、これらの機器から十分離してご使用ください。
- 問3. ACアダプターを外すとラジオが作動しない。
- 内蔵電池が消耗している場合（電池ランプが点滅、または電池で動作しない場合）は、新品の乾電池に交換してください。
  - 電池の向きは正しく入っていますか。電池交換時には電池の向きには十分ご注意ください。
- 問4. ラジオの防災放送が上手く受信できない。
- 防災アンテナをラジオに接続していますか。防災アンテナを取り付けないと防災放送を受信できません。
  - 防災アンテナとFMアンテナが接触していませんか。FMアンテナを起こす時は防災アンテナに接触させないでください。
  - 窓際等、防災放送の受信しやすい場所にラジオを設置してください。

## 11 保証期間

防災ラジオのお買い上げ日より1カ年は保証規定に基づき無償修理または交換させていただきます。  
この「防災ラジオ TTMER01B（TLM 2型 RTC）」の使用上のトラブルや故障の際には、製品裏面に表示の問合せ先にご連絡ください。